

II 施策概要

平成 21 年度予算額一覧表

島根県教育庁生涯学習課
(単位：千円)

| 事業名 | | H20年度 当初予算額 | H21年度 当初予算額 | 増減 |
|-------------|---------------------------|----------------|----------------|----------|
| 01 | ふるさと教育推進事業費 | 41,321 | 40,549 | ▲ 772 |
| 02 | 放課後子どもプラン事業費 | 67,895 | 91,109 | 23,214 |
| 03 | 実証！「地域力」醸成プログラム | 8,000 | 12,000 | 4,000 |
| 04 | 地域教育力市町村支援事業費 | 1,124 | 1,085 | ▲ 39 |
| 05 | 学校支援地域本部事業費 | 80,000 | 150,000 | 70,000 |
| 06 | 家庭教育支援体制整備事業費 | 274 | 274 | 0 |
| 07 | 子ども読書活動推進事業費 | 553 | 628 | 75 |
| 08 | 青少年体験活動推進事業費 | 6,100 | 4,000 | ▲ 2,100 |
| 09 | 生涯学習推進センター事業費 | 29,192 | 21,887 | ▲ 7,305 |
| 10 | 県立図書館事業費 | 115,008 | 118,717 | 3,709 |
| 11 | 県立図書館機能強化事業費（子ども読書活動推進事業） | 0 | 18,769 | 18,769 |
| 12 | 青少年の家事業費 | 79,450 | 79,755 | 305 |
| 13 | 少年自然の家事業費 | 65,175 | 65,071 | ▲ 104 |
| 14 | 社会教育関係団体活性化事業費 | 319 | 919 | 600 |
| 15 | 生涯学習総合推進事業費 | 17,913 | 2,939 | ▲ 14,974 |
| 16 | 青少年文化活動推進事業費 | 17,833 | 15,151 | ▲ 2,682 |
| 17 | 行政事務費 | 24,914 | 18,349 | ▲ 6,565 |
| 生涯学習課 予算額合計 | | 555,071 | 641,202 | 86,131 |

対前年度 15.5%増

【予算要求シーリング】

一般施策経費 85%、経常経費 97%、行政事務費 95%

1 教育の充実 (Ⅲ-1)

乳幼児期からの発育・発達段階に応じた人づくりの大切さを学校・家庭・地域が共有する中で、一人ひとりの可能性を開花させ、ふるさとに愛着と誇りをもち、社会の一員として自立していくことができる子どもたちを育みます。

【施策】

(1) 学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実 (Ⅲ-1-1)

家庭は、子どもに基本的な生活習慣や規範意識などを身につけさせ、心身の調和のとれた発達を促す上で第一義的な責任を負っていますが、少子化、核家族化、価値観の多様化、雇用の流動化など、社会の大きな変化の中で、教育力の低下が懸念されています。

また学校は、いじめ、不登校、学力・体力の低下、生活習慣の乱れなど、様々な教育課題に対応しており、一人一人の子どもや保護者と向き合う十分な時間を確保することが困難となってきました。

そして地域社会は、かつては濃密な人間関係を背景として日常生活の営みの中に教育力を宿していましたが、今やその力が低下しつつあり、地域全体で子どもを育む仕組みを意図的に再構築していく必要に迫られています。

このような現状を打開するためには、学校・家庭・地域が、それぞれの役割と責任を十分自覚するとともに、互いに信頼しあえる関係を築きながら、社会総がかりで教育力を充実していく必要があります。

【主要事業】

①ふるさと教育推進事業

ふるさとへの愛着と誇りをもち、美しいものや神秘的なものに感動する心豊かでたくましい子どもを育むため、地域の自然・歴史・文化・産業といった教育資源を学習素材にするとともに、地域の大人から話を聞いて学んだり、地域へ出かけて自然体験、ボランティア活動等の社会体験、生産体験、職場体験を積み重ねるなど、地域の「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育を県内すべての公立小中学校で実施します。

また、ふるさと教育を通じて、地域の大人が学校教育を支援する機運を醸成します。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|----------------------------|--|---------|
| ふるさと教育推進事業費 (生涯学習課) | ふるさとに愛着と誇りを持つ心豊かな子どもを育むため、「学社連携・融合」(＝地域の大人たちが学校教育を支援)の理念に基づく「ふるさと教育」を推進 【事業内容】 ①市町村交付金 ・県内全ての公立小中学校・全学年・全学級で「ふるさと教育」を実施するため、定額交付金(県10/10)を助成 ②地域人材養成事業 ・「ふるさと教育」に関わる地域の指導者、ボランティア等を対象とする研修会を開催 | 40,549 |

②放課後子どもプラン

放課後や休日に、年齢の異なる子どもが群れて遊んだり、体験・交流できる場を確保するため、「放課後子どもプラン」の策定を市町村に働きかけながら、子どもの居場所づくりを推進します。

また、この取組を通じて、地域全体で子どもを育む機運を醸成するとともに、保護者が様々な地域行事や活動に参加するきっかけを提供するなど、家庭と地域社会の接点づくりを進めます。

さらに、子どもたちの自発的なグループ活動や団体活動が芽生え、盛んになるよう、地域の大人や保護者の協力を得ながら支援を行います。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|---------------------------------|---|---------|
| 放課後子どもプラン 事業費 (生涯学習課) | 放課後や休日に、公民館や学校の余裕教室等を活用し、年齢の異なる子どもたちが群れて遊んだり体験・交流する場を提供 【事業内容】 ①放課後子ども教室運営費補助金 ・箇所数 143箇所 ・補助率 2/3 (国 1/3・県 1/3・市町村 1/3) ②放課後子どもプラン推進委員会の設置 ③コーディネーター、指導員等の養成・資質向上のための研修 | 91,109 |

③実証！「地域力」醸成プログラム

社会総がかりで教育力を充実していくためには、その基盤として県民が自ら地域の課題を掘り下げ、その解決に向けた主体的な学習・実践活動に取り組んでいく「地域力」(自治・自立の理念に基づく地域の底力)を高める必要があります。

このため、自治会、地区社協、地区体協、自主防災・防犯組織をはじめとして、地域に根ざした住民自治活動の振興を図るとともに、その中核となる公民館の機能強化を支援します。

また、公民館活動を通じて「地域力」を醸成するプロセスに光を当てながら、「地域力」の重要性について世論喚起を進めます。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|------------------------------------|--|---------|
| 実証！「地域力」 醸成プログラム (生涯学習課) | 公民館が培ってきた「地域力」醸成のノウハウを、モデル公民館を選定して実証し、「地域力」の重要性について世論喚起 【事業内容】 ・島根県公民館連絡協議会へ実証事業を委託 ・モデル公民館の選定 新規10箇所・継続20箇所程度 | 12,000 |

④社会教育主事派遣制度

～社会教育主事の専門性を活かした「学社連携・融合」の推進～

学校・家庭・地域の連携協力関係を県内各地域で具体的に組み上げていくためには、「学社連携・融合」（学校教育と社会教育との連携強化）の理念に基づく実践活動を普及拡大していくことが必要です。

このため、県の社会教育主事を市町村教育委員会へ派遣する取組を推進し、社会教育主事の専門性を活かしながら「学社連携・融合」を積極的に推進します。

| 事業名 | 事業内容 | 派遣者数 |
|---------------------------|---|---------------|
| 社会教育主事派遣制度 (生涯学習課) | 学校・家庭・地域の連携協力関係を各市町村で具体的に組み上げていくための人的基盤づくりを推進 【事業内容】 ・県の社会教育主事を市町村教育委員会へ派遣 | 19名 (6市6町) |

⑤地域教育力市町村支援事業

市町村の学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む環境づくりを推進することにより、子どもたちの体験活動の場と機会の充実を図ります。

このため、派遣社会教育主事や市町村の社会教育担当者等の資質向上を図る研修会を開催します。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|------------------------------|---|---------|
| 地域教育力市町村支援事業費 (生涯学習課) | 派遣社会教育主事や市町村の社会教育担当者等の専門性を高めるための研修会を開催 【事業内容】 ・新任社会教育主事等研修 (年1回) ・社会教育主事等研修 (年3回) | 1,085 |

⑥学校支援地域本部事業

学校・家庭・地域を取り巻く諸問題を解決するためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を十分自覚するとともに、互いに信頼しあえる関係を築きながら社会総がかりで教育力を充実していく必要があります。

学校支援地域本部事業は、学校と地域との連携協力体制を構築するため、地域をあげて学校を支援する機運を醸成するとともに、多様な形態のボランティア活動を掘り起こそうとするものです。

また、平成21年度から、子育てに無関心だったり孤立化している家庭などへの支援を行うため、訪問型の相談活動を行う「家庭教育支援チーム」を設置します。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|-------------------------------------|--|---------|
| 学校支援地域本部 事業費(国委託) (生涯学習課) | 学校と地域の連携協力体制を構築するため、 地域をあげて学校を支援する機運を醸成する とともに、多様な形態のボランティア活動を 掘り起こす 【事業内容】 ①各市町村に実行委員会を設置 ・コーディネーター、ボランティア等の養 成講座を開催 ②モデル中学校区に「学校支援地域本部」 を設置 ・専任コーディネーターを配置し、多様な 学校支援ボランティア活動を調整 新③「家庭教育支援チーム」を設置 ・子育てに無関心だったり孤立化している 家庭などへの支援を強化するため、訪問 型の相談活動を展開 | 150,000 |

⑦家庭教育支援体制整備事業

「教育の原点は家庭教育にある」と言われ、子どもにとって家庭は、日常生活の多くの時間を過ごすところであり、家庭の果たす教育的役割は大きなものがあります。しかしながら、「過保護、過干渉」的な傾向、放任主義等による家庭の教育力の低下が要因となり、メディア漬けの日々からくる自然体験不足や生活習慣病などの低年齢化傾向、基本的な生活習慣の未定着等、様々な問題が発生しています。

こうした課題に対して、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を十分自覚するとともに、互いに信頼し合える関係を築きながら社会総がかりで教育力を向上していく必要があります。

そこで、家庭教育の意識啓発を行うため、学校と家庭、地域社会を結ぶ要として、家庭教育に大きな関わりを持つPTAと連携し、また、その核となるPTA指導者の研修を通して家庭教育の支援体制を進めます。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|----------------------------------|---|---------|
| 家庭教育支援体制 整備事業費 (生涯学習課) | 地域の教育力向上や家庭・学校・地域の連携 強化、教育環境の改善等を図る連絡協議会・ 研修会の開催 【事業内容】 ①県PTA連合会合同連絡協議会の開催 ②PTA指導者合同研修会の開催 ・県レベルの各PTA指導者の資質及び指 導力の向上 ・各PTA連合会の連携強化と活動意欲の 高揚 | 274 |

⑧子ども読書活動推進事業

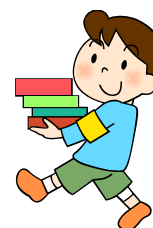
第二次「子ども読書活動推進計画」(H21～H25年度)の進行管理を行うとともに、子ども読書フェスティバル等を通じて子ども読書の重要性を広く普及啓発しながら、すそ野の広い読書運動を展開し、「子ども読書県しまね」の実現を目指します。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|-----------------------------|---|---------|
| 子ども読書活動推進事業費 (生涯学習課) | 県内の子どもたちの読書活動をサポートし、その推進を図る 【事業内容】 ①島根県子ども読書活動推進会議の開催 ・県内における子ども読書活動の推進方策について協議 ・第二次推進計画の進行管理や子ども読書応援団プロジェクトをはじめとした活動の助言・指導 ②子ども読書フェスティバルの開催 ・子ども読書活動の重要性を広く普及啓発 | 628 |

⑨子ども読書応援団プロジェクト

広く子どもの読書活動について関心と理解を深めるため、子ども読書ボランティアの支援や、子どもの読書活動の推進体制整備及び普及啓発に向けた取組を行います。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|--|---|--------------|
| 子ども読書応援団プロジェクト (国委託) (生涯学習課) | 乳幼児期から本に親しむことができるよう、「ブックスタート」の重要性を広く普及啓発するとともに、子どもの読書習慣の確立を目指して学校・家庭・地域が連携した総合的な取組を進める。 【事業内容】 ・「子ども読書県しまね」の気運醸成に向けた広報啓発 ・絵本作家、ブックスタートの実践者等の講演会 ・読書ボランティア活動の支援 (全国7箇所程度が採択される見込み) | 900 (見込み) |



【施策】

(2) 青少年の健全な育成の推進 (Ⅲ-1-2)

青少年が、社会の一員として必要な社会規範や自立性、社会性を身に付け、心身ともに健やかに成長するよう、学校・家庭・関係団体と連携して環境整備を進めます。

【主要事業】

① 青少年の課題に対応した体験活動推進プロジェクト

今日の急激な社会変化に伴い、本県でも、青少年をめぐる様々な課題として、青少年の社会的自立の遅れや社会的不適応が指摘されています。本事業は、そういった課題の中でも、不登校やひきこもりなど社会との関係が希薄な青少年の自立を支援するものです。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|--|--|---------|
| 自立に支援を要する青少年の体験活動推進事業費 (国委託) (生涯学習課) | ひきこもりなど社会との関係が希薄な青少年の自立を支援するため、地域の経験豊かな人材や関係機関の協力を得て、様々な体験活動を総合的に実施 【事業内容】 ①指導者・スタッフに求められる知見・ノウハウの検証 ②持続可能な運営体制のあり方の検証 ③社会体験・自然体験プログラムの開発 | 4,000 |

2 多彩な県民活動の推進（Ⅲ－２）

ボランティアやNPO活動など、多様な主体による幅広い分野の自主的・主体的な活動を促進するとともに、県民一人ひとりが学習活動や、スポーツ・芸術文化活動に親しみながら、生き生きと心豊かに暮らせる地域づくりを目指します。

【施策】

（１）生涯を通じた学習と社会貢献活動の推進（Ⅲ－２－１）

県民が、生涯にわたる学習を通じて自己実現を目指すとともに、学習の成果が社会生活に生かされる生涯学習社会の実現を目指します。

そのためには、個人の興味・関心に基づく自発的学習を待つだけでなく、社会教育施設（公民館、図書館、生涯学習推進センターなど）における学習支援機能の充実強化により、県民の学習活動を積極的に誘発するとともに、その成果を地域課題の解決に向けた実践活動に結びつけるなど、地域社会への主体的な参画を支援していくことが必要です。

【主要事業】

①生涯学習推進センター事業

県民の学習ニーズに応え、地域社会への主体的な参画を支援するためには、社会教育施設の職員や社会教育関係者の専門的力量を高めていく必要があります。

このため、生涯学習推進センターにおける指導者養成機能を強化し、公民館職員や社会教育に関わる各種コーディネーター、NPO関係者、PTA指導者などを対象に、学習支援プログラムなど即戦力かつ専門的スキルを高めるための研修を実施します。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額（千円） |
|-----------------------|--|---------|
| 生涯学習推進センター事業費（人材養成事業） | <p>社会教育の実践者（公民館職員、NPO関係者等）が求める専門的知見（学びや気づきを促すスキル・ノウハウ・マインドなど）を提供する人材養成研修を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①基礎研修 ・社会教育に関する基礎知識や本県の社会教育の現状について理解を深める。</p> <p>②専門研修 ・実践活動に対応した高度な知識や指導技術を習得する。</p> <p>③ファシリテーター養成講座 ・ファシリテーター（地域活動の推進役）としての必要な技術を習得する。</p> <p>④社会教育主事資格取得講習 ・文部科学省からの委託を受け、社会教育主事資格の付与を目的とした講習。</p> <p>⑤メディア研修 ・地域情報化を推進する指導者の養成。</p> <p>⑥社会教育に関する認証の在り方の検討 ・島根大学との連携協力のもとで、社会</p> | 160 |

| | | |
|---------------------------|---|---------|
| | 教育に関する専門性を認証する方策等について、中長期的視点に立って検討を進める。 | |
| 生涯学習推進センター事業費（活動支援事業） | 学習支援プログラムの開発・普及及び、学習情報の提供等を行う。 【事業内容】 ①学習支援プログラム作成・普及 ・社会教育及び学校教育関係者が住民を対象に行うプログラムの開発・普及。 ②学習相談 ③教材貸出 | 2, 207 |
| 生涯学習推進センター事業費（交流拠点事業） | 県内の活動について、情報交換や事例発表等の交流促進を図り、また、市町村と連携して情報誌の発行やデータベースの拡充強化を行う。 【事業内容】 ①生涯学習情報システム ②情報誌「Let's（レッツ）」 ③社会教育連絡協議会（仮称） ・社会教育関係団体相互の情報交換や事例発表等による交流促進。 | 3, 849 |
| 生涯学習推進センター事業費（学校地域連携推進事業） | 県民に対し、高等学校や特別支援学校の有する優れた人材・施設を生かした、各校特色のある講座を提供する。 【事業内容】 ①県立学校開放講座 ・県内の県立学校20校、特別支援学校7校で実施予定。 | 810 |
| 生涯学習推進センター事業費（維持管理費） | 生涯学習推進センター及び西部生涯学習推進センターの維持管理に関する経費 | 14, 861 |
| 小計 | | 21, 887 |

②図書館事業

県民の高度化・多様化する学習ニーズに応え、県・市町村を通じた総合的な図書館サービスを充実するため、市町村立図書館、学校図書館に対する支援を強化します。また、子ども読書活動の推進や関係機関のネットワーク化、郷土資料をはじめとする図書資料整備とレファレンスの強化を図ります。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額（千円） |
|----------|---|----------|
| 県立図書館事業費 | ○図書館活動推進事業 県民の学習要求に応えるため、資料提供やレファレンス等を通じて、いつでもどこでもだれでも学ぶことのできる環境を整備する。 | 118, 717 |

【事業内容】

①図書館協議会

- ・委員 10 名、年 2 回程度開催

②図書の購入・選定・管理

③図書館情報システムの運用

④館内閲覧・貸出

⑤調査相談（レファレンス）

⑥相互貸借

- ・県内外の図書館間の資料相互貸借

⑦高齢者・障害者郵送等貸出サービス

- ・高齢者・障害者が在宅で県立図書館の図書を借りることのできるサービス

⑧団体等貸出

- ・学校、公民館等への図書の一括貸出
- ・石見部においては、西部読書普及センター（浜田市長沢町）を拠点に実施

⑨研修事業

- ・市町村立図書館の司書職員等を対象に、専門性を高めるための研修や巡回訪問を利用した出前研修の実施

⑩文化講座開催

- ・「出雲国風土記を読む会」「古文書を読む会」「しまね文学散歩」等の文化講座を定期的に開催

⑪広報啓発事業

- ・館報、図書館要覧の発行

○市町村支援事業

県民にとって利便性の高い市町村立図書館及び読書施設等に対する支援を通じて、県内全域にわたる図書館サービスの充実を図る。

【事業内容】

①配本・特別貸出

- ・図書館未設置町村及び蔵書の不足している市町村立図書館に対し、長期一括貸出を実施

②協力巡回

- ・市町村立図書館等を巡回訪問し、運営面の諸課題について助言指導

○子ども読書支援事業

児童図書や子ども読書に関する研究資料等の収集・提供を行うとともに、関係団体との連携を密にしながら、児童向けサービスの充実、親子読書の推進、ボランティア活動等の促進を図る。

| | | |
|----------------------------------|--|----------------|
| | <p>【事業内容】</p> <p>①幼児・児童読書普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども室運営、読書普及指導員の派遣 <p>②子ども読書推進講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こどものつどい」「子どもお楽しみ会」等の開催 <p>③学校への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への団体貸出等 ・市町村立図書館職員向け研修への学校司書の受入れ <p>○郷土資料整備収集事業</p> <p>郷土資料の収集・保存・提供を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①郷土資料収集・保存対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県に関する古文書・古絵図等の郷土資料を調査・収集し、保存性・利便性を高めるためのマイクロフィルム化、デジタル画像化を計画的に実施 <p>②郷土文献情報検索システム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の人物データ作成を進め、来館のみならずインターネット利用により、広く情報提供する。 <p>③郷土資料モニターと連携した郷土資料収集</p> | |
| <p>県立図書館機能強化事業費（子ども読書活動推進事業）</p> | <p>県内すべての公立小中学校における学校図書館活用教育を実現するため、県立図書館の使命である学校図書館支援機能及び人材養成機能を強化する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①小中学校向け団体貸出を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校に十分な図書が整備されるまでの臨時措置として、小中学校向けの図書パッケージを県立図書館に一括配備し、団体貸出を強化 <p>②学校司書等の人材養成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館に配置される司書、ボランティア等の専門性を高めるための専門研修 ・子ども読書活動を幅広い県民運動として展開するための読書ボランティアを発掘・養成する基礎研修 | <p>18,769</p> |
| <p>小 計</p> | | <p>137,486</p> |

③青少年の家事業

小中学生を中心とした青少年に、宍道湖の湖面活動（サバニ、カッター）など多面的な体験活動プログラムや交流の機会、宿泊研修等の場を提供することにより、心身の健全な育成を図ります。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額（千円） |
|----------|--|---------|
| 青少年の家事業費 | <p>○運営委員会 ・運営委員 15 名、年 2 回開催</p> <p>○研修支援事業 湖面活動、創作活動等の自主的な研修を援助するため、講師や協力者の体制を充実するとともに参加者が様々な体験ができるよう施設やプログラムを提供</p> <p>【事業内容】 ・様々な体験プログラムによる研修指導、艇指導、宿泊指導の実施</p> <p>○主催事業 青少年の健全育成と県民の教養及び文化の向上に資するため、サン・レイクフェスティバル等の主催事業を実施</p> <p>【事業内容】</p> <p>①サン・レイクフェスティバル ・施設・設備を開放し、施設利用者の研修成果を発表する場や体験活動の場等を提供</p> <p>②にこにこ土・日 ・親子の共同・交流体験等を通じて、家族の交流活動を奨励し、家庭の教育力向上に資する（年 3 回開催） ・「こどもの日」に合わせて、家族で楽しむ機会（湖面活動）（年 1 回開催）</p> <p>③サン・レイクスポーツ教室 ・サン・レイクならではのスポーツの機会を広く県民に提供する（年 2 回開催）</p> <p>④青少年活動支援者養成講座 ・青少年活動をはじめとする地域活動やボランティア活動に必要な理論や技術を体験的に学べる機会を提供し、活動する上で必要なスキルの向上を図り、併せて社会貢献への意欲を高める</p> <p>⑤サン・レイク夏楽校・冬楽校 ・少年の体験を広げ「生きる力」の育成の一助とするため、個人で参加できる長期宿泊体験の機会を提供</p> | 79,755 |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>(夏楽校 2 回、冬楽校 1 回開催)</p> <p>⑥サン・レイク楽校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩みを抱えている児童・生徒に、青少年社会教育施設を利用した、自然体験や生活体験の機会を提供し、元気や自信をつける一助とする。 <p>(年間 6 回程度開催)</p> <p>⑦環境教育に関する指導者研修及び研修支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の児童・生徒を中心に、より多くの県民が宍道湖の自然の良さを実感し、環境への意識を高める機会提供(指導者研修 1 回、支援事業 11 月～3 月) <p>⑧プログラム開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験や生活体験のできる恵まれた学習環境を有効活用し、環境教育や家庭教育支援事業等の現実的課題について、学校等に提供できるプログラムを開発 <p>○青少年の家指定管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の家の施設設備の維持管理業務を指定管理者が代行 | |
|--|---|--|

④少年自然の家事業

小学生を中心とした子どもたちに、江津市の浅利富士の林間の自然を活用した多面的な体験活動プログラムや交流の機会、宿泊研修の場を提供することにより、心身の健全な育成を図ります。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額(千円) |
|-----------|--|---------|
| 少年自然の家事業費 | <p>○運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員 14 名、年 2 回開催 <p>○受け入れ事業</p> <p>冒険の森(フィールドアスレチック)活動、創作活動等の自主的な研修の支援体制を充実するとともに参加者が様々な体験ができるよう施設やプログラムを提供</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者に様々な体験プログラムを提供 ・研修指導・宿泊指導を実施 <p>○主催事業</p> <p>青少年の健全育成と県民の教養及び文化の向上に資するため、チャレンジ・ザ・サマー等の主催事業を実施し、親子交流体験活</p> | 65,071 |

動や自然体験活動の機会を提供

【事業内容】

- ①利用者団体指導者研修会
 - ・集団宿泊生活の教育的意義と集団生活の効果的で安全な実施方法について研修（前・後期の2回開催）
- ②オープンデー
 - ・施設を県民に開放して、野外活動や創作活動を家族で体験し交流を深める（春・秋の2回開催）
- ③チャレンジ・ザ・サマー、エンジョイ・ジ・オータム
 - ・家族が大自然の中で行動を共にし、共通の体験を通してより良い関係を築くとともに絆や交流を深める（チャレンジ・ザ・サマー 年4回開催）
（エンジョイ・ジ・オータム 年1回開催）
- ④子ども探検隊 in 自然の家
 - ・小学校の上学年児童が、自然との関わりを通して様々な体験活動や宿泊生活を行い、自然への興味・関心を高めたり、集団規律を学んだりする
 - ・大学生ボランティアと参加者との交流を図る（年1回開催）
- ⑤わくわく体験！森と海のつどい
 - ・アクアスでの宿泊体験を通して、魚の生態を観察したり、自然の家での体験活動を通し、家族相互の交流を図る（年2回開催）
- ⑥子ども寺子屋体験楽校
 - ・小学校の中学年児童が、自然の家で集団宿泊しながら通学し、集団生活の決まりや協調性、思いやりの心を育て、子ども同士の交流を図る。
- ⑦わくわく森もりランド in 江津
 - ・年長幼児とその保護者を対象に、自然体験や創作活動を通して親子の絆を深める。

○広報・啓発事業

広報・啓発により、施設利用や主催事業参加の促進を図る

【事業内容】

- ・所報、利用の手引き、活動資料、リーフレット、入所関係資料の作成

⑤社会教育関係団体活性化事業

社会教育関係団体が実施する人材養成研修等への支援を通じて、社会教育関係団体の活性化を図ります。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額（千円） |
|--------------------|--|---------|
| 社会教育関係団体 活性化事業費 | ①県連合婦人会研修事業助成金 300 ②中国・四国地区子ども会ジュニアリーダー大会（島根大会）助成金 200 ③日本PTA中国ブロック研究大会（島根大会）助成金 400 など | 919 |

⑥生涯学習総合推進事業

社会教育に関する専門的知見や実践経験を有する有識者の意見を社会教育行政に反映させるため、社会教育委員の会を開催します。

また、社会教育主事資格取得者を計画的に養成し、社会教育を振興する人的基盤を整備します。

| 事業名 | 事業内容 | 予算額（千円） |
|-----------------|---|---------|
| 生涯学習総合推進 事業費 | ○生涯学習推進体制の整備 【事業内容】 ①社会教育委員の会 社会教育法に基づき、社会教育委員を委嘱し、本県の社会教育行政に関し、教育委員会への意見具申を行う。 ②その他 各種負担金など | 909 |
| | ○社会教育主事講習派遣事業 【事業内容】 ・公立小中学校教員等に社会教育主事資格を取得させるため、必要な講習へ派遣する。 | 2,030 |
| 小計 | | 2,939 |

【施策】

(2) 芸術・文化の振興(Ⅲ-2-3)

文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものです。21世紀を切り拓く心豊かでたくましい人材を育成するために、郷土やわが国の文化・伝統を尊重し、同時に他の国や地域の文化・伝統に敬意を払う意識を涵養することが重要です。

このため、青少年の文化活動を地域が支援するという理念に基づき、社会教育の一環として、地域との連携を重視した事業展開を図りながら、心豊かな人材育成と芸術・文化の振興を図ります。

【主要事業】

①青少年文化活動推進事業

多様な文化芸術に触れることにより、青少年の豊かな情操を培うとともに、次代の文化活動の担い手を育成するため、学校、地域・文化団体と連携し、活動成果の発表機会の提供、社会人指導者の活用による技術・表現力の向上を図ります。

【青少年文化活動の向上推進】

□島根県児童生徒学芸顕彰制度

文化系の全国大会において入賞した本県の児童生徒を教育長から顕彰する。

□全国大会出場校知事激励

全国大会（合唱・吹奏楽・演劇・郷土芸能・日本音楽）に出場する高校に知事激励金を授与する。

【青少年文化活動の普及・振興】

□県高校総合文化祭共催

島根県高等学校文化連盟に負担金を交付し、各分野別の基幹事業を共催する。

□全国高校総合文化祭への参加促進

大会に参加する生徒の旅費を補助する（補助率1/3）。

□高校文化活動に関するポータル機能強化

県高文連との連携を強化し連絡調整機能を高めるため、専任事務局職員雇用を助成する。

□中学生による作品・表現活動の発表会開催

県内中学校における文化活動が総合的に発表される大会を開催する。

【地域・文化団体との連携支援】

□高校文化活動校外指導者（社会人等）派遣

学校長から推薦された指導者を当該校に派遣する。

□中学校文化活動校外指導者（社会人等）派遣

学校長から推薦された指導者を当該校に派遣する。

□地域等における高校文化活動発表支援

県高文連を窓口とし、地域行事・団体発表会への参加を支援・助成する。

【芸術等鑑賞機会の提供】

[文化庁所管事業]

□子どもの映画鑑賞普及事業

文部科学省選定等の優れた邦画上映（委嘱）

□子ども夢・アート・アカデミー

- 「日本芸術院会員」を学校に派遣し講話・実技披露（国直接執行）
- 本物の舞台芸術体験事業
 - 芸術文化団体公演・ワークショップ（国直接執行）
 - 「言葉」について考える体験事業
 - 言語表現等について各界の第一人者による講習（国直接執行）
 - 「言葉」に関する参加体験型講習の指導者養成事業
 - 言語表現等に関する指導方法を各界の第一人者が指導し人材育成（国直接執行）
 - [その他]
 - 島根県児童演劇地方巡回公演
 - （社）日本児童演劇協会と連携し良質で安価な児童劇を提供（県予算措置なし）
 - 島根県青少年劇場小公演
 - （財）日本青少年文化センターと連携し良質で安価な音楽公演を提供（県予算措置なし）
 - 島根県青少年音楽鑑賞事業
 - 島根県在住の音楽家を登録し出演を仲介する（ゼロ予算事業）

| 事業名 | 事業内容 | 予算額（千円） |
|---------------|--|---------|
| 青少年文化活動の向上推進 | ・青少年文化活動の意欲を喚起するため、知事から激励金授与、教育長による顕彰を実施する。 | 420 |
| 青少年文化活動の普及・振興 | ・「全国高総文祭しまね'07」の成果を踏まえ、島根県高等学校文化連盟の運営を支援することにより、青少年文化活動の振興を図る。 ・高校文化活動に接続する中学校文化活動の育成を図る。 | 12,289 |
| 地域・文化団体との連携支援 | ・中学・高校文化活動に社会人指導者を派遣し、活動を支援する。 ・地域の文化行事や文化芸術団体が主催する発表会等への参加を促進する。 | 2,442 |
| 芸術等鑑賞機会の提供 | ・児童演劇・音楽公演を市町村に仲介する。（県費予算措置なし） ・文化庁所管事業（委嘱等） | — |
| 小計 | | 15,151 |

